

簡が出土しているが（本誌七号）、当調査地点のものより小型である。さらに工区の長さを示す際には「丈」の単位が使用され、「間」の単位が使用されている当調査地点の木簡との差については不明である。これらの解明には事例の増加を待ちたい。

9 関係文献

鎌倉市教育委員会「北条小町邸跡（泰時・時頼邸） 雪ノ下一丁目三七七番七地点」（鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書二二 平成七年度調査報告書第二分冊）一九九六年）

（岡 陽一郎）

『紫香楽宮関連遺跡発掘調査報告』の刊行

滋賀県信楽町の宮町遺跡からは、本号でも報告を掲載したように紫香楽宮に関連する木簡が大量に出土している。今回、一九九三年度に信楽町教育委員会が実施した発掘調査の報告書が刊行された。

主な内容として宮町遺跡第一三・一四次調査の概要報告の他、栄原永遠男「宮町遺跡出土の木簡」、橋本義則「紫香楽宮の宮号について」、金原正明・金原正子「宮町遺跡第一三次調査における微遺体および大型植物遺体の検討」などを収める。

信楽町教育委員会編集・発行、一九九四年三月刊

A4判、本文五六頁、図版六三枚

頒価二八〇〇円

送料一部三八〇円、二部五二〇円、三部以上送料着払い
問い合わせ

信楽町教育委員会 生涯学習課

〒五二九―一八 滋賀県甲賀郡信楽町長野一二〇三番地

TEL 〇七四八―八二―一二二

FAX 〇七四八―八二―二四六三